

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	第2回伊那市中学生キャリアフェス
事業主体 (連絡先)	伊那市中学生キャリアフェス実行委員会 伊那市下新田 3050 番地 伊那市教育委員会事務局学校教育課
事業区分	(1) ③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,721,198円 (うち支援金: 990,000円)

### 事業内容

伊那市キャリア教育憲章の理念、『「地域で子どもを育てよう」「子どもは地域の宝・地域の未来」』に基づき、市内の中学生が「地域を知り」、「地域の人とふれあい」、「地域の未来を考える」日、キャリアフェスを体験することにより、伊那市への愛着を深め、将来の伊那市を支える人材育成につなげるため、伊那市中学生キャリアフェスを開催した。

- 1 日時 令和元年11月14日(金)
- 2 場所 エレコム・ロジテックアリーナ  
(伊那市民体育館)
- 3 対象者 市内全中学校2年生
- 4 参加生徒数 637人
- 5 出展数 105(ブース96、ヒューマンコーナー8)



【全員集合】

### 【目標・ねらい】

- ①生徒にとって：地域の産業、文化を知ることを入りに、地域の大人に出会い、触れ合い、話し、考える中で、自分の未来を考え、想像する一助とする。
- ②出展者にとって：多くの生徒、教職員に対して企業の思いや事業を伝える機会とするともに、この地で生活する、生きる一人としての考えや思いを子どもたちに直接伝える機会とする。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 地域にいる大人たちと中学生が「楽しい」時間を共有し過ごしたことは、生徒に必要な、未来へつながる何かを得られた時間になった。(生徒の感想から；自分が知っていたのはほんの一部。地元で働くのも選択肢として考えられるようになった/生き方の幅が広がった)
- 2 参加した大人たちにとっても、自らが働く企業(事業所)や伊那市に暮らすことの素晴らしさ、子どもたちと過ごす時間の大切さを再認識する時間となった。(出展者の感想から；いろいろな経験は無駄ではなく、人を育てることなんだと気づかされた)
- 3 生徒の保護者にとっても地元企業等を知り、子どもの将来について子どもと話す時間を持つきっかけとなった。(保護者の感想から；大人や友達との時間は、将来に向けて必要な時間だと思う)このように、伊那に住んで生きている者同士、子どもと大人の垣根を越えて関われる時間の大切さを実感した1日となった。

### ※自己評価【A】

#### 【理由】

参加した多くの大人と中学生が、地域のことを知り、考え、語り合い、お互いが笑顔で過ごせた1日となった。県内外からの問い合わせも増え、認知度が高まっている。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

将来ふるさと伊那を支え、継承していってくれる中学生を育てるため、キャリアフェスをさらに進化発展させていきたい。地域で育つ子どもたちが、たくさんの大人と出会い、生き方を知り、考え、自分の未来につなげて生かしていけるような経験がたくさんできるよう、今後も継続して実施していきたい。

また、補助金等に頼らず実施していけるよう、来年度は出展事業者の協力をいただきながら、さらに充実したキャリアフェスとしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある